

当社を含むパインブリッジ・インベストメンツ・グループのスチュワードシップおよびエンゲージメントポリシーについてご説明します。

I. パインブリッジ・スチュワードシップおよびエンゲージメント・ポリシー

下記のパインブリッジ・スチュワードシップおよびエンゲージメント・ポリシーは、パインブリッジが環境、社会及びガバナンス（ESG）の問題に関して企業、団体、その他の市場参加者とどのように対話するよう努めるかを定めたものです。このポリシーはすべての資産クラスに広く適用されるもので、パインブリッジとお客様の双方の投資および ESG の両目的を達成することを目指すものです。個々の戦略では、このパインブリッジのポリシーを補完する特定の方針を有することがあります。

スチュワードシップとエンゲージメント・フィロソフィー

スチュワードシップは、お客様に代わって資産を運用する上で極めて重要であり、また、お客様と投資先企業等の双方に有益となる ESG の取り組み上も重要な要素です。投資先企業との継続的でオープンな対話は、企業のポジティブな変化と透明性を促進し、最終的には持続可能で長期的な企業価値創造の促進とそれに参画するために効果的な方法であると考えています。

「スチュワードシップ」を、投資先企業や団体の価値の保護・向上を目指すと共に投資目的を達成するための、個別あるいは協働での活動と定義しています。スチュワードシップ活動には、発行体とのエンゲージメント、株主総会での議決権行使、株主決議/提案の提出、取締役会や委員会への参加、インベストメント・チェーンにおけるスチュワードシップ活動に関するサプライヤーとの交渉やモニタリング、政策立案者や基準の策定者との目的をもった対話、そして、スチュワードシップの目標実現を助ける公共財（調査など）や言論（メディアなど）への貢献などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

「エンゲージメント」とは、企業、政府、業界団体、規制当局等と懸念事項について目的をもってコミュニケーションを行うことで、投資先企業に変化を促し、市場全体やシステムリスク（気候変動など）に対処することと定義しています。情報を得るための定期的なコミュニケーションは、継続的なリサーチや投資デューデリジェンスの一環であり、ひいては ESG 要素

の組み入れやスチュワードシップ活動の一環であると考えていますが、そのようなコミュニケーション自体をエンゲージメントとは分類していません。エンゲージメントは、ESG のリスクマネジメントを向上し、それにより下記の分野で投資家にとって有益な価値を創造することを最終的な目的として行われるものです。

エンゲージメントのテーマ

エンゲージメント活動では、ボトムアップで挙げられる重要な ESG 課題とトップダウンの ESG のテーマを区別しています。ボトムアップの ESG 課題は、セクターやアセットクラスによって異なり、投資デューデリジェンス・プロセスや ESG 要素の組み入れに反映されるものです。一方、トップダウンの ESG テーマは、全てのアセットクラスにおいて優先的に取り組むエンゲージメントの課題であり、それはパインブリッジが長期的な投資メリットがあると考えあるいは顧客やマンドートが指定するものです。エンゲージメントの具体的な実施方法はアセットクラスによって異なりますが、パインブリッジの目標と進捗の測定方法は、以下の 3 つの共通テーマへの取り組みにおいて、すべてのアセットクラスで統一されたトラッキングとレポートを容易にしています。

1) 気候変動

パインブリッジは、気候変動とそれに関連するリスクが世界経済にとってますます緊急の脅威となっており、市場に重大な影響を及ぼす可能性があることを認識しています。気候に焦点をあてたリスクと機会を考慮した運用をお客様から委託された場合には、お客様に代わり投資家としてパリ協定の目標に沿って気温上昇 1.5℃以内に抑え、温室効果ガス排出量実質ゼロにすることを目指した責任のある行動と経済活動を行うべく、保有銘柄の発行体とエンゲージメントを行います。パインブリッジは、ネット・ゼロ・アセット・マネージャーズ・イニシアチブの署名企業として、温室効果ガス排出に関する実行可能な変革の推進に貢献することを約束しており、また、志を同じくするお客様に代わって行動します。パインブリッジは、堅実な投資機会を提示している企業、そして、お客様からのマンドートに則していれば脱炭素化への貢献に道筋を示している企業とエンゲージメントを行うことを目指しています。

2) ダイバーシティ & インクルージョン

パインブリッジは、多様で包括的な企業文化が、より良いビジネス成果をもたらし、成長を促進するための中核であると信じています。また、一人ひとりがビジネスにユニークな強みをもたらし、一人ひとりに包括的で衡平性を歓迎する企業文化を確保する責任があると信じています。お客様が社会的インパクト投資を目的としている場合には、スチュワードシップとエンゲージメントの取り組みにおいて、投資先企業が衡平で包括的な採用、育成、昇進手続きを実践していることを確認し、必要であれば、より包括的で多様性のある職場にするように、その企業のリーダーに説明責任を求めます。

3) 人権

パインブリッジは国連グローバル・コンパクトの署名企業として、人権と尊厳の確保が持続可能な成長にとって不可欠であることを認識しています。パインブリッジの顧客に対する義務は、投資するまたは投資する可能性のある企業や団体に重大な人権侵害や過失のリスク（あるいはその可能性）があればそれを指摘するとともに、パインブリッジが適用される法律や国連条約に沿った行動をとることです。パインブリッジは、多様で強力かつ包括的な労働力が、より良い事業成果を推進し、成長を促進するための中心であると考えています。

II. エンゲージメント・アプローチ

パインブリッジは、エンゲージメント・プロセスとして 4 段階のアプローチをとっています。

1. 機会の特定。継続的なボトムアップの ESG 分析とトップダウンの重点テーマから指摘された最も重要で顕著な ESG 課題に基づき、エンゲージメントの機会を特定します。
当社は、対象証券の保有規模、ESG 課題の重要性または顕著性、およびそれらの課題へのエクスポージャーに基づいて、エンゲージメントの優先順位を決定します。
2. 目標の設定。エンゲージメント・テーマに沿って、明快、明確、期限付きで、測定可能なエンゲージメント目標を策定します。

3. 方法の選択。エンゲージメントの目的に応じて、最適なエンゲージメント手法と計画を決定します。
4. 進捗状況の記録。エンゲージメント活動、進捗状況、必要なフォローアップ・アクションを記録します。

III. スチュワードシップとエンゲージメントの方法

エンゲージメントの目的に応じて、スチュワードシップとエンゲージメントの取り組みにおいて、以下の方法のいずれか、またはすべてを採用します。

- 投資先企業等との口頭または書面によるコミュニケーション。これは、電話、電子メール、またはその他の正式なコミュニケーション手段が用いられます。
- 対面ミーティング。パインブリッジのチームは、投資先企業やその他の団体と様々なミーティングを直接またはバーチャルで開催し、エンゲージメント・テーマに沿ってパインブリッジの見解や懸念事項について話し合います。
- 議決権行使。パインブリッジは、株主の議決権を効果的に行使するため、議決権行使に関する方針を定め、その方針には上場会社の株式投資についての議決権行使ガイドラインが含まれています。不動産やプライベート・エクイティなどの他のアセットクラスでも議決権行使を伴うものがあり、各アセットクラスでその詳細なガイダンスを定めています。
- 協力的な関与。アクティブ・マネージャーとして、ESG 関連リスクの軽減のため、同業他社や業界パートナーと協力します。

スチュワードシップとエンゲージメントの方法と頻度は、資産クラスごとに異なる場合があります。各アセットクラス別のポリシーにその詳細を定めています。

IV. エスカレーション・プロセス

パインブリッジは、投資先企業やその他の団体との建設的なエンゲージメントを信条とし、投資先企業の ESG の枠組みの中で潜在リスクの軽減と潜在的な機会の特定についてサポートに努めています。投資先企業等がパインブリッジが示した期待値やパインブリッジや顧客が懸念す

る問題の改善要求に対して適時かつ十分な回答をしない場合、該当する投資戦略に応じて、以下のエスカレーション方法のいずれか又は全てを検討します。

- 社外取締役および/または取締役会会長に懸念を伝える
- 他の投資家と協力し、変革の要請をより強力なものにする
- 定時または臨時株主総会での関連議案に反対票を投じる
- 取締役、委員長、および/または取締役会議長の再選に反対票を投じ、株主決議を共同提出または支持する
- 懸念を公表する
- 投資ポジションの縮小、投資を回避または売却する

V. 利益相反の管理

パインブリッジの利益相反に対する考え方は、顧客の利益に重大なリスクをもたらす可能性のある既存及び潜在する利益相反を特定した上で、これを回避または管理するためにあらゆる適切な措置を講じています。

VI. レビューとコミュニケーション

パインブリッジのアクティブ運用の理念は、ポリシーの見直し、プロセスの保証、その有効性の評価など、会社のあらゆる側面に及びます。パインブリッジは、スチュワードシップとエンゲージメントのポリシーを毎年見直すよう努めています。

I. PineBridge Stewardship and Engagement Policy

The following stewardship and engagement policy sets forth how PineBridge endeavors to interact with companies, entities, and other market participants on environmental, social and governance (ESG) issues. The policy broadly applies to all asset classes, with the aim of achieving the investment and ESG objectives of PineBridge and its clients. Individual strategies may have specific policies that complement PineBridge's overarching policy.

Stewardship and Engagement Philosophy

Stewardship is a vital aspect of managing assets on behalf of our clients' behalf, and it is an important component of ESG incorporation that benefits both PineBridge's clients and the companies or entities in which we invest. We believe that an ongoing open dialogue with our investee companies is an effective way to drive positive change, encourage transparency, and ultimately promote and participate in sustainable long-term value creation.

We define stewardship as individual or collaborative activities that seek to protect and enhance the value of the companies and entities in which we invest and thereby help attain our investment objectives. Stewardship activities may include, but are not limited to, engagement with issuers; voting at shareholder meetings; filing shareholder resolutions/proposals; taking direct roles on boards and board committees; negotiating with and monitoring suppliers with regard to stewardship actions in the investment chain; engaging with policymakers and standard-setters; and contributing to public goods (such as research) and public discourse (such as media) that support stewardship goals.

When we refer to engagement, we mean purposeful, targeted communication with an entity (e.g., a company, government, industry body, or regulator) on matters of concern, with the goal of encouraging change with an individual issuer or addressing a market-wide or systemic risk (such as climate change). While we treat regular communications to gain information as part of our ongoing research or investment due diligence, and in turn as part of our ESG incorporation and stewardship activities, we do not categorize such communication as engagement, per se. Engagement is undertaken with the ultimate goal of improving ESG risk management and therefore creating value for our investors in the circumstances described below.

Engagement themes

In our engagement efforts, we distinguish between material bottom-up ESG issues and top-down ESG themes. The bottom-up engagement issues will differ from sector to sector and from asset class to asset class, and they inform our investment due diligence process and ESG incorporation. The top-down themes are engagement issues PineBridge has prioritized and committed to across all asset classes where we believe there is a long-term investment benefit or where clients or mandates specify. Though specific implementation of engagement can differ from asset class to asset class, our objectives and the way we measure progress facilitate uniform tracking and reporting across all asset classes as we work to address the following three common themes:

1) Climate Change

At PineBridge we recognize that climate change and its associated risks poses an increasingly urgent threat to the global economy with potential significant market consequences. As an investor entrusted by certain clients to manage risks and opportunities with a focus on climate, we engage on their behalf with our portfolio holdings to take responsible and economic actions towards a carbon-neutral world, in line with the Paris Agreement's objective of limiting global warming to 1.5° C. PineBridge is committed to help drive actionable change on greenhouse gas emissions as a signatory of the Net Zero Asset Managers Initiative and act accordingly on behalf of like-minded clients. We aim to engage with companies that demonstrate a prudent investment opportunity and, for in-scope mandates, a path toward supporting global carbon neutrality.

2) Diversity & Inclusion

We believe that a diverse and inclusive corporate culture is central to driving better business outcomes and fostering growth. Our belief is that each person brings unique strengths to a business and that each person shares responsibility for helping to ensure an inclusive and welcoming culture of equity. In our stewardship and engagement efforts, for mandates where societal benefit is a stated investment goal, we aim to ensure companies are espousing equitable and inclusive recruitment, development, and promotion practices. Where needed, we will hold company leaders accountable to promote a more inclusive and diverse workplace.

3) Human Rights

As a signatory of the UN Global Compact, we recognize that ensuring human rights and dignity is essential to sustainable development. Our obligation to our clients is to address the risk of (potential) involvement of companies or entities in which we invest or may invest in gross human rights abuses or corporate negligence, as well as ensuring that PineBridge is aligned with applicable laws and UN conventions. We believe that a diverse, strong and inclusive workforce is central to driving better business outcomes and fostering growth.

II. Engagement Approach

We follow a four-step approach in our engagement process:

1. Identify opportunities. We identify engagement opportunities based on the most material and salient ESG issues flagged as part of our continual bottom-up ESG analysis and our top-down focus themes. We prioritize engagement based on the scale of our holdings of the underlying securities, the materiality or salience of the ESG concerns, and our exposure to those concerns.
2. Set objectives. We formulate clear, distinct, time-bound, and measurable engagement objectives in line with our engagement themes.
3. Select method. We define the most suitable engagement method and engagement plan depending on the engagement objective(s).
4. Record progress. We document our engagement activities and progress made and any follow-up actions needed.

III. Methods of Stewardship and Engagement

Depending on our engagement objectives, we will employ any or all of the following methods in our stewardship and engagement efforts:

- Verbal or written communication with investee companies or other entities. This can be achieved via calls, emails, or any other means of formal communication.
- In-person meetings. Our teams host a variety of in-person and virtual meetings with investee companies and other entities to discuss our views or any concerns in accordance with our engagement themes.
- Proxy voting. In order to effectively exercise our shareholder voting rights, PineBridge has developed a voting policy that includes custom guidelines for proxy voting for our listed equity investments. Voting may also be relevant in other asset classes, including real estate and private equity, and we provide detailed guidance in our asset-class-specific policies.
- Collaborative engagement. As active investors, we are committed to work with peers and industry partnerships to mitigate ESG-related risks.

The methods and frequency of stewardship and engagement may vary from one asset class to another, as detailed in our asset class-specific policies.

IV. Our Escalation Process

We believe in constructive engagement with investee companies and other entities. Our ambition is to support them in their ESG framework to mitigate potential risks and identify potential opportunities. When investee companies or other entities do not respond in a timely and sufficient manner to our stated expectations and requests for improvement on issues of concern to PineBridge or its clients, PineBridge will consider any or all of the following escalation strategies where appropriate, depending on the investment strategy:

- Raise our concerns with non-executive directors and/or the chair of the board
- Collaborate with other investors to add weight to our requests for change
- Vote against relevant agenda items in general or as part of extraordinary shareholder meetings
- Vote against reelection of directors, the chair of the board committee, and/or the chair of the board - Co-file or support shareholder resolutions
- Raise our concerns publicly
- Decrease our investment positions, decline to invest, or fully divest.

V. Managing Conflicts of Interest

PineBridge's approach to conflicts of interest is to take all appropriate steps to identify and prevent or manage potential and actual conflicts of interest that could pose a material risk to the interests of our clients.

VI. Review and Communication

PineBridge's active management ethos extends to all aspects of the firm, including the review of our policies and process assurance and our assessment of their effectiveness. We endeavor to review our Stewardship and Engagement policy on an annual basis.